

吟道月報

NO.3

47.10.1

碩心会

碩心会再興追想録

前会長 板倉菴風

昭和三十三年、私は横須賀米海軍基地SRF在
臈中、吟道部に参加（当時六十四才）して練習
を始めました。三十三年初頭から根岸氏（現在
の晃岳先生）宇川天山氏（鎌倉在任）電氣店主
鈴木南山氏（逗子郵便局前）符と相謀り、逗子
在任の松井先生を師範として、先生のご要望に
答えて逗子吟道会（碩心会）を再興することと
なりました。根岸先生の推せんにより、私が会
長に、鈴木氏が会計係とし、会場を逗子旧消防
署の控室土間の一室（鈴木電氣店裏）で毎週一
回練習することといたしました。会員は五、六
程度で高橋勝一氏（碩風）、根岸新治氏（故清
岳）、下条良氏（拓風）も三十三年半は頃まで
入会されましたが極めて貧弱なものでした。
其の後三十四年、三井氏（今の三井会長）の
入会を得て私の足らざる所を補佐していただき

又小林紫舟先生の御協力を得て吟道と詩舞と提携
して光彩をそえ、前市教育委員会の助成を受け、
逐年会員も増加して現在の隆盛を見届に至りまし
たことは誠に慶賀にたえぬ次第であります。私は
昭和四十斗迄、八年間会長を相つとりました。

以上

☆ 秋季昇任審査終る

九月二十七日、一九、〇、〇、〇、〇、〇 五十六名
九月二十九日、一九、〇、〇、〇、〇、〇 五十七名
初段（25）二段（19）初任（16）三段（18）四段
（8）中任（6）五段（5）六段（5）奥任（4）
準師範（4）師範（3）以上合計百十三名昇任が
認許されました。お目出度うございます。
一、平素の枝柄が出せなかつた人が特に多かつた
ようです。

二、正しい姿勢態度をとること、先日亡くなった
歌守東海林太郎さんの服装態度とその心構え以
つて範としたいものです。

三、昇任位にふさわしい枝柄をこれから心して身
につける様にします。

以上の三点を講評の中からまとめました。

初伝、中伝、奥伝の方は雅号を決めて至急総務まで。尚、許証料は十月中に同じく総務迄。

■ 眞本部費、頑心会本部費

各支部長さんへ

四十七年度前期の登録員数は二〇二名としてあります。七月から十二月迄の本部費合せて各月五十円六ヶ月分を十一月中旬に総務まで納入して下さい。人数割は左の通りです。

逕子 25、堀内 58、大船 38、一色 16、長柄 12、山口 10、山ノ根 6、畠土見 4、沼間 11、桜山 14 建設 8、計 202 名



テイチフレコード吟雄の飛虎について、

松井先生（小諸なる古城のほとりー、三節）、根岸、岡嶋先生連吟（本能寺）、三井会長（千鳥薫情）、その他、他の会三名で吹込んだレコード出来上りました。片面八分、計十六分です。値段は六〇〇円、総務まで。



☆ 会員の近況

一色支部の鈴木栄山さん御満気のため入院さけておられます。御見舞を差上げておきました。一日も早く御回復を祈ります。

☆ 大船支部日より

十月二十九日（日）一四、〇〇より無我相山黙仙寺講堂に於て支部吟道温習会開催、会費一〇〇円大船駅から観音様側へ徒歩三分です。

退会々員 203 早島 43

肩番変更等で名簿の訂正、左の通りです。

- 81 大貫忠光 〇四五一八八一ニ五〇三に
- 82 横山清一 〇四五一八一ニ六三ニセに
- 84 上村晴良 〇四五一八九ニ一四六三七に
- 222 塚越六郎 〇四五一八九ニ一〇八七五に
- 223 森田アキ 住所を岡津一ニ二八に
- 224 森田敏太郎、〇四五一八一ニ二六五追加